

本法寺〔小川頭にあり、日蓮宗十六本寺の其一なり〕林泉は光悦の作にして、世に三巴の庭と賞ず、其形築山泉石共に浪の紋を模す。什宝には三幅対の名画あり、中央観音月壺の筆、左は許由張芳汝の筆、右巢父同筆なり。鷄頭草の絵は舜拳の筆、貝尽の絵は趙昌の筆、これらは当寺の奇品なり。光明皇后御筆の法華経、又小野道風の法華経あり、本阿弥光悦の添翰あり。羅漢の像は種々あり、明兆雪舟古法眼等の筆なり。宗門には日蓮日親等の筆物数軸あり。又名笙あり、其銘を松風といふ、中華より伝来といふ。其外数品あり、略之。摩利支天の画像あり、筆者詳ならず、足利尊氏の副翰あり。

其 文 云

太現明王者合戦本尊也黄石公授三子房公一尊也匡房卿授三源義家之此尊一又名摩利支天当家伝レ之項羽高祖合戦時項羽軍強高祖度々討落此時張良此尊高祖伝奉敵強雖此尊帥行前持敵自退散何況本尊威光依吾儕無不レ開レ眉矣

正慶二年十一月

護帥檢役口伝申也

足利大和守殿

氏